



新年あけましておめでとうございます。令和5年がスタートしました。平和で穏やかな新年を迎えられたことと思います。今年卯年、ぴよんぴよん跳ねて飛躍の年にしたいですね！

さて、年明け早々ではありますが、今週は2年生にとっては初めての地区実力テスト、3年生は私立入試・県立推薦入試前最後となる校内実力テストが実施されます。自分の行きたい高校や学科を記入してテストを受けるのは、校内の定期テストとはまた違った緊張感があるものです。冬休みにしっかり準備ができた生徒もいるでしょうが、直前までしっかり集中して頑張りましょう！

参観日・学校保健委員会へのご出席ありがとうございました

12月13日(火)の参観日及び学校保健委員会を実施しました。また、当日に急遽2年生を下校させたり、会場を体育館からリモートへ変更したりしましたが、たくさんのご参加をいただき、ありがとうございました。

今回の学校保健委員会では、黒木瑞季様を講師にお招きして、「性の多様性」について講話をいただきました。当事者でもある黒木さんが、子どもの頃や学生時代に辛かったこと…健康診断や体育・水泳時の着替え、アンケートの性別に○を付ける欄、当時中学生男子は坊主にしなければならなかったことなど、あげればきりがありません。

今では考えられない暴言や嫌がらせを受けた黒木さんですが、友だちや先生を恨む気持ちは全くなく、悪いのは「社会」そのものだと思っていたそうです。17歳の時に死にたいとまで思い詰めていた黒木さんを踏みとどらせたのは、「自分より後に生まれてくる子たちに同じ苦しみを与えたくない!」という思いでした。今こうして啓発活動をしているのは、「先に生まれた者としての責任」だともおっしゃっていました。胸に刺さる一言です。講話を聞いた保護者の方々の感想の一部を抜粋して紹介します。

★講師の方の実体験を聞き、胸がいたくなりました。…一人一人違っていいんですよ。子育てにも役に立ちました。

★社会生活において普通であること、当たり前であることの押し付けが、どれだけ一人一人の意思、感情、心を苦しめるものなのか、追い込まれるものなのか、人の思い込みは人を傷つけるものだと考えました。



2学期終業式～たくさんの生徒が表彰されました～

12月23日(金)の終業式では、学年代表による学期反省が発表されました。1年生田村心美さんは、「苦手な英語を頑張って克服することができた・先輩のアドバイスであいさつの大切さに気付くことができた」と振り返りました。2年生小森輝真さんは、「遅刻が多く、また提出物の期限も守れないことが多かった・いろいろな人とコミュニケーションをとって行事に頑張った」と、自分の課題にもしっかり向き合いました。3年生萱嶋翔馬さんは、「スマホの使用時間が多く、受験生としての雰囲気を作れなかった・19人全員で合格を目指してがんばりたい」と前向きに語ってくれました。最後に生徒会代表の市来優良さんが、「自分の仕事に責任をもって取り組むことができた・3学期はボランティア活動に力を入れていきたい」と生徒会らしい締めくくりを述べてくれました。また、今回はたくさんの生徒が表彰されましたので紹介したいと思います。

- ・中学生人権作文コンテスト宮崎県大会 奨励賞 1年 鳥成来愛さん
- ・国富町青少年健全育成作文コンクール 優秀賞 3年 黒木優羽鈴さん・高砂尋加さん 優良賞 1年 中野叶彩さん
- ・宮崎県読書感想画コンクール

指定図書の一部 第1席 3年 地田侑多さん 第2席 1年 田村心美さん 第3席 中村文香さん

自由図書の一部 第2席 1年 待鳥結花さん 入選 廻尾颯良さん

- ・東諸県郡書展 毛筆の部 入選 1年 中別府咲希さん 2年 中村文香さん 3年 岡田心来
- 硬筆の部 入選 1年 鳥成来愛さん 2年 本田彩葉さん 3年 伏田華さん
- ・多読賞 ①和田蒼来さん ②郡怜華さん 茂田庵さん ④有村凜さん ⑤中村文香さん ⑥中別府咲希さん
- ⑦廻尾颯良さん ⑧和田大地さん ⑨伊東ひよりさん ⑩石神七海さん
- ・河川愛護ポスター 銅賞 3年 黒木優羽鈴さん
- ・消費者教育絵画作品・啓発ポスターコンクール 優秀賞 3年 田村心春さん 佳作 3年 古城琴那さん

修学旅行に行ってきました！！

12月7～9日の三日間、3年ぶりとなる関西への修学旅行へ行ってきました。詳細は「山桜・増刊号」でお伝えした通りです。あっという間の三日間で、「帰りたくな～い!」と言っていた生徒たちも、家に帰れば「やっぱり家が一番落ち着く・・・」とつぶやいていたそうですよ!それがわかっただけでも、貴重な経験と言えます。今回学んだことを、これからの生活に活かしていきましょう。



上:1日目 あべのハルカス展望台
左:2日目 京都自主研修
右:3日目 激混みのUSJ

第2回ビブリオバトル(12月2日)

今回は1年生鳥成さん、2年生茂田さん、3年生萱嶋さんが発表してくれました。投票の結果、第2回のチャンプ本は萱嶋さんの「世界と日本の戦争遺産」に決まり、終業式で表彰されました。おめでとうございます。

本庄高校出前授業～情報モラル学習～

12月6日(火)に、本庄高校生による出前授業が行われました。対象となった一年生は、最初こそ緊張していましたが、本校卒業生でもある優しい先輩方の声掛けて、楽しく情報モラルを学ぶことができました。高校生にもなると、こんなにしっかりと話ができるのか、と驚きです。また久しぶりに母校の教室に入ったり、懐かしい先生方とおしゃべりしたり、高校生の方も嬉しそうでした!

BOOK TALK(ブックトーク)・・・第5回<2年主任・保健体育科 松田 正之先生>

「岡田武史監督と考えた スポーツと感性」という本を紹介します。

著者の志岐幸子さん(元スポーツ番組キャスター)とサッカー元日本代表監督の岡田武史さん(愛称:岡ちゃん)や多くのトップアスリートとの対談の中から「なるほど～」と感じたことがまとめられています。その中から八代中の生徒の皆さんにも伝えたいと思ったことを紹介します。

- 「好奇心と意欲をもつ」・・・目にどれほどすばらしいものが存在したとしても、好奇心と意欲がなければ「感性のアンテナ」は作動しません。感性を磨くためには、いろいろなことに興味をもつこと、そして興味をもった理由を考えることが必要です。また、何をするにも前向きな姿勢で取り組むことも大切です。
- 「多くの本物や一流に触れる」・・・スポーツに限らず、幅広い分野・世代の一流の作品や人にじかに触れることが大切です。競技場でスポーツ観戦をしたり、美術館で一流の芸術品に触れたり、一流のアーティストによる演奏会や舞台を見に行く事もプラスにつながります。
- 「読書で感性が磨かれる」・・・一流のスポーツ選手が読書家であるというのもよくあることで、読書も感性を磨くの役に立ちます。また、若いころから様々なスポーツや習い事をする事は、身体的なバランスの良さだけでなく、感性の働きをよくし、才能を伸ばすことに役立つことが多いです。成長し、専門的な競技や分野に進み、壁にぶつかったときに、他の分野での経験が突破口を開くヒントをくれることがあるからです。

最後に・・・体育の先生っぽい本の紹介になりましたが、読書はいいですよ!



<1月行事予定>

10日 始業式・避難訓練

11日 容儀点検

12日・13日 地区実力テスト(2年)

校内実力テスト(3年)

17日 非常食体験給食

24日 私立入試前日指導(3年)

25日・26日 私立入試(3年)



※ 学年が書いていないものは、全学年が対象です。 ※ 1月の部活動終了時刻は **17:30** となります。

